

# 第30回 うつのみやこども賞だより

平成25年度 10回  
2014年3月2日発行

市内5・6年生の選定委員さんたちが、月に4冊の本を読んで、年間で一番人気の高かった本に「うつのみやこども賞」を贈っています。

《今月選ばれた本》

## 『星空ロック』

那須田淳／著（あすなろ書房）



～読んだ本の感想より～

- レオとケチルのコンビネーションは最高だと思った。
  - 最後にすべての場面が一つの結末になった！！ あっちゃんこっちゃ事があるついていくのがやっとだったけど、すべてそれがつながっていた。なぞときのような話の構成で、楽しかった。
  - 二人の旅は単純な旅ではなかったので、楽しく読めた。
  - ケチルの正体がよく分からない所がおもしろさだと思う。
- ベルリンの歴史などがのっていて興味深い一さつだった。
  - ケチルへの思いをこめてえんそうしたレオにとっても感動しました。

『ずっと空を見ていた』 泉啓子／著（あかね書房）

- カエルが男前すぎるー！！もう本当に、日本男子の鏡だよ…。カエルや真吾、由樹奈、そして理央達がそれぞれの未来に向かって歩いていく結末を読み終えたしゅん間、この本こそがこども賞にふさわしい作品だと思った。
- 理央の思う「未来」はどんなことかドキドキした。理央と友だちとの信らい関係が深いのがわかった。
- 人の感情がたくさんつまったお話でした。

『木かげの秘密』 浅野竜／著（学研）

- いろいろなところで事件が起きて…それを全て解決したのは、すなおなきもちだったかなと思った。
- クラスのいじめやむしなどの標的が急に変わったりすることにびっくりして、人というのは勝手だなあと思った。
- 登場人物みんなの気持ちに共感できる場所があって、読みやすかった。
- 金魚のその後も知りたい。

『ラスト・スパート！』 横山充男／著（あかね書房）

- 駅伝を最後まで走りぬいた正信たちのチームワークがすごくよかった。話が明るくてとてもおもしろかった。
- 走りながら翔たちが少しずつ成長していくのが良かった。
- 走ろう会ジュニア部のみんなは最後まであきらめないですごいなと思った。
- 翔たちにマラソンをやらせようと思わせたおじさんもすごい。
- しょうの最後の走りは、もう、釘づけだった。